

季刊 春 2016

はくじゅうそう

白寿花

主な内容

- ◆ 桜を見ながら思い返すこと（施設長 海老沼達雄）
- ◆ 節分・掃除のご奉仕
- ◆ 行事報告
- ◆ 行事予定
- ◆ 白寿荘俳句会
- ◆ 思いでの一曲（美しき天然）
- ◆ クラブ紹介（料理クラブ）
- ◆ 感謝
- ◆ かわら版（3 階居室の改修工事）
- ◆ 白寿荘の窓から（支援員 橋本 友里）

心をつくし、精神をつくし、思いをつくして主なるあなたの神を愛せよ 自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ。
マタイ福音書 22 章 37, 39 節



松沢先生と生徒さん達が おりがみ会を開いてくださいました



桜を見ながら思い返すこと

施設長 海老沼 達雄

一年が過ぎてゆくスピードが、どんどん速くなっていると感じるのは気のせいでしょうか。お年寄りにそう言ったところ、「自分もそうだった。あなたも気付けばおじいさんだよ。」と言われ、みんなそうなら仕方がないなと思いました。限られた時間ですが、やるべきことはたくさんあります。今年一年で、白寿荘にどのような変化があったか、桜を見ながら思い出してみようと思います。

まずは職員のネットワークシステムが構築されました。これまでは紙ベースでの情報共有でしたので、情報が錯綜するなど業務が煩雑になっていました。ここに支援ソフトを導入しサーバーを介してネットワークを構築することで、情報の共有はスムーズにまた効率的に行えるようになりました。印刷物も大幅に減りましたので、ペーパーレス化も期待できます。

また三階居室のリニューアル工事が完了しました。三階居室にはまだ畳が残っている部屋があり、段差による転倒のリスクや、部屋が狭くなる等のデメリットがありました。畳部分を失くし部屋をフラット化することで、広々としたスペースを生活空間として活用できるようになりました。

桜と共に平成二十八年度が始まります。どんな一年となるか、また来年の今頃に桜を見ながら思い出せるように、実りある一年にしたいと思います。



2 月 3 日、法人内の高齢者施設合同で節分の豆まきを行いました。
初めての企画でしたが利用者様の喜んだ顔や驚いている顔が印象的でした。



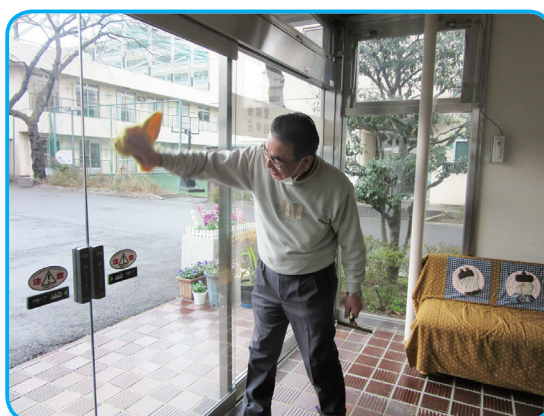
節分



2 月 20 日、目黒明るい社会づくりの会の方々が今年も清掃のご奉仕をしてくださいました。



清掃のご奉仕



行事報告

1月27日
あすなろ会様訪問



3月7日
理髪奉仕表彰式



3月3日 三恵様
(洋品店)による出張販売



3月30日
お花見会



行事予定

- | | | | | | |
|------|------------|------|------------|------|------------|
| 4月3日 | もゆらの会奉仕 | 5月1日 | もゆらの会奉仕 | 6月5日 | もゆらの会奉仕 |
| 4日 | 理髪奉仕 | 2日 | 理髪奉仕 | 6日 | 理髪奉仕 |
| 9日 | 喫茶やすらぎ・誕生会 | 28日 | 喫茶やすらぎ | 9日 | 第63回開所記念式典 |
| 16日 | ハンスオン東京訪問 | 26日 | 美容奉仕 | 11日 | 喫茶やすらぎ・誕生会 |
| 17日 | ガールスカウト奉仕 | 15日 | ガールスカウト奉仕 | 18日 | ハンスオン東京訪問 |
| | | 14日 | 喫茶やすらぎ・誕生会 | 19日 | ガールスカウト奉仕 |
| | | 21日 | ハンスオン東京訪問 | 23日 | 喫茶やすらぎ |
| | | 26日 | 喫茶やすらぎ | 28日 | 美容奉仕 |

白寿荘俳句会

林 萬壽美 選

陽 子

金箔の一片とべるどんどこな
寒稽古青き畳にうたれたる

引き際を決めかねてゐる大寒波
待つといふたのしき春の灯を
古暦おもひ捲きとる大晦日

宏 治

大平の民慎ましく屠蘇一献
初場所や日本力士の悲願成る
野火の跡つつみに小さき春の芽が
ベランダに枯葉の嵩や風の音
凜然と冬満月に対峙せり

スミ子

海山の品じな重し雑煮椀
野にいでて土筆の袴とりつ摘む
紅白の椿きそひし郷の路
安楽死ひたすら祈る花明かり
柚子一つ置き句作りの独りなり

キヨ子

参道の砂利に杉の香初詣
いにしへの恋はおほらか歌留多取り
あめつちの息合うて立つ霜柱
門前に餅売る娘春しぐれ
新しきレシビを加へ聖夜待つ

貴美男

初詣やしらの境内ひとりじめ
人日や熱きコーヒータのしめり
香り立つ白水仙の峠道
酉の市薄暮のコート衿を立て
何事もなく蕎麦を食ふ年の暮

シズエ

松過ぎてこれから過す顔となる
初咲きの水仙にほふ朝ぼらけ
福の豆齢の数ほど食べられず
お酉さま熊手に愛を掻きあつめ
空つ風行きも帰日も真向に

キミ子

初日の出願ひをこめて健やかに
年新た姉の電話に幸もらふ
塩鮭に白き御飯よ箸はづむ
初雪や子供のころをふと思ふ
逝きし友残されし身の夜寒し

真理子

また会へた春の兆しの老の梅
祝拍手おもごし綻ぶ酉の市
美味いうまい太巻食べて鬼は外
「山茶花の宿」を歌ふや年の暮

博 伸

思いでの一曲

利用者S様に思い出の一曲についてインタビューしました。

★曲

『美しき天然』一九〇二年（明治35年）

作詞 武島羽衣

作曲 田中穂積

★思い出エピソード

S様が幼少のころ、お母様がいつも子守唄として
バイオリンを弾きながら唄ってくれた曲。
貧しさの中でも、子供に温かな心を与えてくれた
：とお母様とともに思い出される一曲とのことで
す。

この曲は、はじめ女学校の愛唱歌として唄われていたが、広
く一般に知れ渡ったのはサーカスやチンドン屋のジンタとし
て演奏されたことである。

※ジンタとは、明治時代中期の日本に生まれた民間オーケス
トラ「市中音楽隊」の愛称。

クラブ紹介 料理クラブ



ひなまつりの前日、ミニケーキで一足先に「ひな祭りお茶会」として料理クラブを行いました。ホットケーキに生クリーム・あんこ・苺を自由にトッピングして召し上がっていただきました。施設長もホットケーキを焼くのに腕をふるってくれました。焼きたてに、皆さん満足されたようで「おかわり」や「美味しい」との声が聞かれました。

季節を感じながら楽しい一時を過ごせました。

料理クラブは毎月第四月曜日に行っています。興味のある方は是非参加してみてください。

感

謝

「指導」

小森谷ミサ様 民謡指導
 千本 扇夢様 端唄指導
 林 萬寿美様 俳句指導
 東葉ミュージックボランティア協縁 器楽指導
 富田 光枝様 手芸指導
 高沢淑・爽様 リハビリ踊り指導
 齊藤 道雄様 訪レク指導
 永井 一喜様 書道指導
 中垣 圭子様 パソコン指導
 田中智恵子様 ヨガ指導
 野村 浩治様 環境整備・生花指導
 生田 寛子様 てづくりさくひん指導

「技術」

目黒理容師会様 理髪奉仕
 どんぐりの会美容グループ様 美容奉仕
 テアールの会様 生演奏奉仕
 レントの会様 誕生会生演奏奉仕

「労力」

もゆらの会様
 ガールスカウト東京六四団様
 弁天宗東京別院様
 田園調布ボランティアセンター様
 目黒明るい社会づくりの会様

「招待」

株式会社三恵様
 とみんのメガネ様

「訪問」

カットサロン中川様 カットモデル 毎月1回
 ドン・キホーテ様 お花見招待 25名
 3/29
 3/31 27名

「見学・交流・研修」

グレース会様 喫茶訪問 毎月
 ハンズオン東京様 交流訪問 毎月
 宗編流様 お抹茶訪問 13名
 1/16
 あすなろの会様 4名
 1/27

「寄贈」

松沢先生と生徒様 折り紙の会 2名
 1/9
 2/13 11名
 駒澤大学学生様 実習前ボランティア 2名
 3/22～25
 早稲田ホームサービスグループ様
 グレース会様
 小笠原忠恵様



かわら版

改修前



改修後

3階居室の改修工事を1月～3月にかけて行いました。白寿荘は基本2人部屋ですが、部屋の奥（改修前の畳の部分）で2部屋が繋がっており、新たに壁を設置し段差を解消しました。また床・壁紙も新しくしました。利用者様にとって、居心地の良い生活空間の提供に今後とも努めていきます。

白寿荘の窓から

支援員 橋本 友里

支援とは…、自分に出来ることは何か、押しつけの優しさではなく、その方に合った介護、支援を実施できているか、日々自問自答しています。決して答え（支援方法）は一つではありません。最善な対応ができるよう努めています。

利用者様を知れば知るほど、その方にどう接したら良いか、どうお手伝いすることが出来るか、相手を知ることにより、関わり方に深みが増してきます。

ご縁があり、出会えた方々と過ごす時間を私は大切にしていきたいと考えています。同じ時間を共有することにより、よりよい支援、介護につながるよう心がけています。うれしい事、楽しい事は勿論ですが、悲しい事、辛い事も時にはあります。どんな時も一緒に分かち合っていけたらいいな、と思います。

白寿荘は一年を通じ、様々な行事があります。どの行事も関わるすべての皆で作りに上げている一体感が印象的で素晴らしいです。利用者様の笑顔のため、独りよがりではなく、相手に寄り添った介護、支援を目指し、これからも努力、精進して参ります。

編集後記

いつまでも寒い日が続いていると思っているうちに、確実に花の蕾も膨らみ春の準備が進んでいたようです。愛隣会の桜も綺麗に咲き、今年も楽しませてもらいました。私自身、白寿荘に入職してから五度目の春を迎えました。一年目の頃は桜をゆっくり見る余裕もなく出勤していたように思います。

さて私事ではございますが、六月より産休・育休をとることとなりました。1年間白寿荘だよりの担当をしてきましたが夏号からは、後任の大野に変わりますのでどうぞよろしくお願いいたします。（木村）

誌面に掲載しているご利用者様の写真は、予めご本人・ご家族の承諾を得ております。

白寿荘だより実行委員会

白寿荘

発行所

〒153-8516 東京都目黒区大橋

2丁目19番1号

社会福祉法人 愛隣会 白寿荘内

責任者 海老沼 達雄

TEL (03) 3466-0267

FAX (03) 3466-6258

URL <http://airinkai-hakujū.jp/>

E-mail hakujusou@airinkai-hakujū.jp

印刷所 グロウブリッジ